

米山(下牧)山行記録



山頂を望む



しらば小屋下鞍部(下山時)

目的地	米山(下牧コース)	期 日	平成18年12月24日(日)
山行人	佐々木康男・フサ子、笠原正雄、中野 茂	天 候	曇時折日差し・無風

地 点 名	時刻	記 事
与 板 発	7:00	西山～柿崎間高速利用。路上温度計 6°C。分校舎跡に先着 2 台あり。雪は全く無い。
下 牧 登 山 口	8:40 発	登山ポストのノートに記入して歩き出し。しばらく杉林を進み、それを抜けると九十九折れの急登となる。葉の落ちた木々の間から海岸を右に見たり左に見たりする。
水 野 分 岐	9:10	(休) 下牧 1.2km・山頂 2.3 km・水野 1.0 km の新しい標柱。ここでアルミワカンを背負った単独男が追越して行く。
駒 の 小 屋	9:30	(休) 到着直前、別の単独男が小屋を出発して行った。錆びたブリキ板に小屋名がかろうじて読めた。この後、沢状の登路に所々雪が混じってくる。
水 野 林 道 分 岐	10:05	山頂 1.0 km・下牧 2.5 km・水野 2.3 km・水野林道 1.0 km。ここで尾根道も全面雪となる。前日の雪で表面が軽くクラストしている。
しらば避難小屋	10:10	(休) ここまで中野氏が先頭だったが、先行者の歩幅が大きすぎるので、一人登山靴の俺が先頭に立ち、クラスト表面の歩幅を小さくするようにして進む。
米 山 山 頂	10:55 ↓ 1:05	到着 15 分前、朝一番の単独男と 2 人が下山して来た。小屋は空いていた。しらば小屋の単独者のほかにもう一人居た。宿泊者がいたらしいが下山後だった。無人の 2 階の座卓で乾杯。途中、トイレで下に降りると、10 月 10 日にやはりここで顔見知りになった夫婦が居た。再会を握手で喜ぶ。ゆっくり楽しく 2 時間余を過ごす。
下 牧 登 山 口	2:30 着	駐車車両は我々だけになっていた。帰板後、拙宅で慰労会。

雨の日が続いていたが、クリスマスイブのこの日は雨マークが無かった。水曜日の終業後、中野茂氏を作業場に訪ね、山行を相談した。小屋のある山と云う理由でこの山とした。ついで佐々木夫妻から連絡があり、楽しい 4 人隊となった。上山路を大平または下牧を候補にしたが、当日の朝に協議して下牧を上がった。

思いのほか入山者が少なく、人気の大平からの人も極く僅かであった。この時季としては、風も無く時折日差しも出て、穏やかな日だった。従ってアルミワカンを持参したが、雪も少なく使わずじまいであった。

